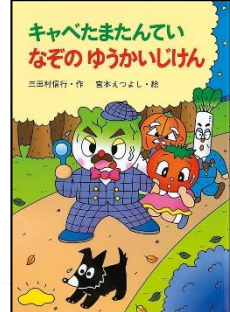




『キャベたまんてい』シリーズ
三田村信行作 / 宮本えつよし絵



じけんをかいけつする
キャベたまんてい
じゃのトマトちゃん
じゃがバタくんも
大からやく♪
全25巻の人気
シリーズです。

『たまごのはなし』
しおたにまみこ作 ブロス新社



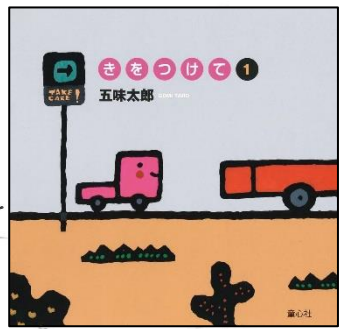
つるんとした
たまごが語りかけ
くる ちおとふしぎな
ふんい気の本です。
ろつのおはなしが
入っています

読書の秋

みんなの大すきな本

読書の秋となりました。夏のえほんまつりの
えほんビンゴで、みなさんに「大すきなえほん」を1つ
かいていただきました。そこには「楽しい本がソクソク♪
ほんの一部ですが、ごしょうかいします。♡ そして、けいじふい
としょかん本館 絵本コーナーに全46まつリスト掲示予定デス♡

『きをつけて』シリーズ
五味太郎作・童心社



『ばけばけばけ
ばけたくん』シリーズ
岩田明子作・大日本図書



のりものかば
主人公のシリーズ
ちゅーり
ドキドキの
えほんです。
1・2・3巻あります

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

おはなし会

本館えほんコーナー
でやっています
毎週
おはすい ☆ 水ようび 4じ ~ ※第3水は昔語
おはどん ☆ 土ようび 3じ ~
おはちび ☆ 第2日ようび 11じ ~ ※0,1,2さい向け
すばたりおはなし会 ☆ 第5土ようび 3じ ~

休館日 毎週月よう日(月よう日が祝日のとき)
開館時間
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:00

鶴岡市立図書館
TEL(0235)25-2525





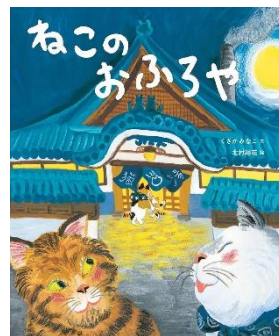
まずは、「まっしろゆ」白ねこさんにおすすめです。「まっくろゆ」は黒ねこさんのために。もふもふ湯もありますし、ねこタワーから飛び込みできる湯船もあります。飛び込み禁止じゃないんです。

ねこさんたちは、思い思いに、湯船につかったり、おしゃべりをしたり。お風呂上りには、ミルクを飲んだり、マッサージをしてもらったり。

絵本の画面いっぱい描かれた、様々な、そしてまごました場面や設定が、面白いんです。ねこさんたちの表情や小道具たち。壁の張り紙も、全部読みたくなります。

おはなし会で「ニャーニャー」言ってみたら、すごく楽しんでくれました。見返しに書かれたお風呂の入り方も、ぜ～んぶ読んでしまいました。姉妹で参加してくれた子が、この絵本を借りて行ってくれました。

おはなし会は、導入です。家に帰って、また姉妹でこの絵本を見れば、2倍3倍、10倍楽しいと思います。だって、どの言葉も絵も、声に出すたび、見るたびに面白いんですから。



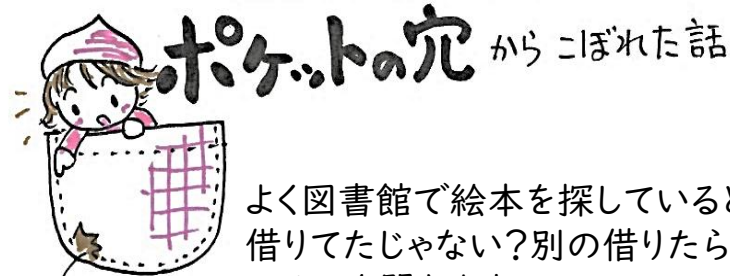
『ねこのおふろや』
くさかみなこ 文/北村裕花 絵
アリス館 2023年刊

秋といえば「月」を思うのは、私だけでしょ。今年の中秋の名月は、9月17日に終わってしまいましたが、10月には、「栗名月(十三夜)」というのがあるのは、ご存じでしょうか。今年は、10月15日だそうです。

そして、満月の夜には、不思議なことがおこったりいたします。今回紹介するのは、『ねこのおふろや』(くさかみなこ文 北村裕花絵 アリス館 2023年刊)です。

満月の夜に開店するねこのためのおふろ「猫湯」のおはなし。番台には、「ネコモリ」さんと「ネコハラ」さん。なかなか貫禄のあるお二人がいらっしやいます。大人100ニャン(円?)、子ども50ニャンの銭湯です。脱衣所には、爪を研ぐ専用の壁もあります。爪を研ぐのは、入浴前がおすすめだそうです。

お風呂場に入ったら、まずは体を「ニャンプー」できれいに洗いましょう。お風呂は大きな湯船にぬる～いお湯がたっぷり。今日もたくさんのねこさんたちでにぎわっています。特別な湯船もありますよ。



よく図書館で絵本を探していると、『あなたこの前もこの本借りてたじゃない?別の借りたらどう?』と親御さんが話しているのを聞きます。

確かに親御さんからしてみれば、これだけ沢山の絵本があるのに、同じのじゃなくて別のを選んでみてはどうか?と勧める気持ちも分かりますが、子供さんにとっては、もう一度借りて読んでみたい絵本だし、それだけ気に入っているから、もう一度借りたいんだと思うんです。自分が思うのは、それだけ好きなら何度でも借りてあげて、絵本の一言一句憶えるくらいまで、子供さんが読んだり、親御さんが読んであげたらいかがでしょうか。

図書館では1度に10冊借りる事が出来ます。何度も読みたい絵本と、まだ読んだ事がない楽しそうな絵本を選んでみて下さいね。手に取った1冊が、その子にとって素敵な絵本でありますように。



ポケットメンバーのおすすめ作家紹介 「エルマーのぼうけん」の作者 ルース・S・ガネット(1923.8.12-2024.6.11 アメリカ出身)

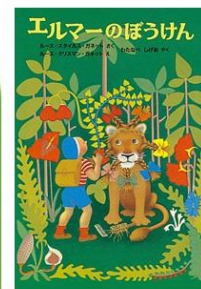
おはなしの好きな子供時代 3歳の頃から物語を作って話していた

「エルマーのぼうけん」はスキーロッジのアルバイトとして滞在した期間に書き始めた。アルバイトが終わり、父のいるコーンウェルの別荘で書き上げた。エルマーがたくさんのガムを持っていたのは、子どもの頃、思う存分ガムを食べたいと思っていた願望があったから。

父が新聞社に勤めていた頃、作家のインタビューと一緒にでかけて行ったことも。ヘレン・ケラーやルーズベルト大統領夫人などの会席に同席したことも。父の再婚相手ワンダ・ガアグ(「100まんびきのねこ」の作者)はエルマーの挿絵を描いている。

エルマーが出版されるとき、挿絵を描く人を探していた時出会った画家ピーターとは出版の前年1947年に結婚。

ふたり目を産出した1950年に「エルマーとりゅう」を出版、その翌年1951年「エルマーと16びきのりゅう」を出版。続編を書いたのはエルマーとりゅうを家族のもとに返してあげたかったからという思いがあった。



ルース・スタイルス・ガネット著 わたなべしげお訳 福音館書店刊行

ルーシーが作家として出版したのはこの3冊だけ。彼女にとって物語を書くことは「楽しみ」で、仕事にはならなかったから。

大人になったら12人の子どものいる「お母さん」をやりたいと思っていた。実際に7人の女の子を育てた。



前沢明枝 福音館書店刊行